

事例 22、「豆乳のアレルギーに注意！」

【事例】スーパーで125ml入りの豆乳を試供品としてもらい、飲んだ。

15分後、せきが出て目がかゆくなり、鼻水が止まらなくなって病院に行った。

アレルギー反応と診断されたが、これまで大豆アレルギーになったことはない。

不審。(相談者：70歳代、無職、女性)

【対処法】① 近年、成人してから大豆製品に対するアレルギーを発症する患者さんが増加しています。豆乳などによるアレルギーは、カバノキ科花粉（シラカバ・ハンノキなど）へのアレルギーを持っている患者さんか、リンゴや桃を食べた時にのどがかゆくなるような果物アレルギー症状を持っている人に起こりやすいようです。② これらの方は、豆腐やがんもどき・味噌など、大豆加工品は大丈夫でも、豆乳のように、加工の度合いが少ないもの・液体であるものについてアレルギー反応が起こりやすいようです。直ちに医療機関を受診しましょう。③ 自分がカバノキ科の花粉症かどうかは、血液検査を受ければ知ることができます。

※何か問題が起こったら、企画課の消費相談窓口で相談しましょう。秘密は守られます。